

平成29年度 自己評価書及び学校関係者評価書（自己評価）

◇ 学校教育目標

～生徒の自主・自立を支援し、大学進学後の成長と社会に貢献できる人間の育成～

- 1 高い志を持ち、自ら真理を探究する人間の育成
- 2 進取積極的に自ら社会に貢献する人間の育成
- 3 文化の創造と発展に寄与する人間の育成
- 4 逞しく生きるための体力と豊かな人格の育成

分野	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	評価のポイント・改善の方策	自己評価の適切さ	改善策の適切さ
重点目標	生徒が充実した学校生活を送るよう支援する。	A	教科の学習だけではなく、特別活動などを通じた知徳体の調和がとれた教育活動が生徒、保護者に支持されている。引き続きバランスのとれた生徒への支援活動を充実させていく。	A	A
	自ら学び自ら考え、真理を探究する人間を育てる。	B	単位制の特色を生かした科目選択、総合学習や進路探究学習などを通じ、自ら学び自ら考える態度の育成を目指している。引き続き、授業改善や総合学習の見直しによって、教育活動の一層の充実を図る。	B	A
	広い視野に立って、生活や文化の発展に寄与する人間を育てる。	B	毎日の朝読書、総合的な学習などの積極的な取り組みが広い視野をもつ生徒を育てている。今後とも、一層効果的な指導を模索しながら継続していく。	B	A
	他者への思いやりや正義感をもった社会に貢献する人間を育てる。	A	部活動・学校行事が積極的に行われ、ボランティア活動に取り組む機会や人数も増えてきており、社会に貢献できる生徒の育成に寄与している。今後とも指導をさらに工夫し充実を図っていく。	A	A
学校関係者評価委員からの意見 ・教科学習と特別活動等から、「知・徳・体」の調和のとれた教育活動は、生徒、保護者に高く評価されている。 ・朝読書、総合的な学習などを通して、視野を広げ、自ら学び自ら考える教育活動が行われており、生活文化の発展に寄与する生徒の育成に向けた成果を期待する。 ・「シラバス」の意義を周知していただき、さらに充実した学習活動に結び付けていただきたい。 ・幅広い教養を体得できるような選択科目を、確実に充実させていることを評価する。					
学習指導	授業を通して学習意欲を喚起し、基礎学力を定着させる。	B	継続的に授業改善に取り組み、教員は指導法を工夫しているが、生徒の満足度は必ずしも高くない。また、家庭学習が十分になされていない実情がある。今後とも、さらなる授業改善に取り組み、生徒自らが積極的に学習に取り組む意欲を喚起していく工夫と努力を重ねていく。	B	A
	多様な選択科目を生徒自らの意思で選択し履修する。	B	概ね生徒の進路や興味関心に応じた科目選択ができているが、シラバスの整備などを行い、一層丁寧なガイダンスをしていく必要がある。選択科目は、生徒にとってより魅力的なものになるよう今後も見直していく。	A	B
	生徒の向上心に応え、適切に学習活動を支援する。	A	進学講習等の学習活動の支援体制は概ね充実しており、生徒、保護者からも評価されている。生徒がより主体的に取り組む姿勢の育成を目指して、知・徳・体のバランスのとれた教育活動の充実を図り、その「仕掛けづくり」が望まれる。	A	A

	施設設備を整備し、有効で適切な利用を促進する。	A	講義室・体育施設などは使いやすいように整備されている。単位制の基本である「共用の概念」については、概ね教員・生徒の間には意識されている。	A	A
	<p>学校関係者評価委員からの意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業改善、指導法の向上に努め、生徒の家庭学習充実への環境改善指導、生徒自らの学習意欲を喚起する授業改善に期待する。 ・学校、先生への信頼度が一層の高まりを見せるなか、生徒自らが積極的に学ぶ意欲を、選択科目と家庭学習に反映して、進路実現に結び付けていただきたい。 ・進学講習等の学習活動の支援体制は充実し、生徒、保護者からの評価は高い。 				
生活指導	自主自立の姿勢を育成する。	B	自主自立の育成の指導方針は、生徒・保護者ともに理解され支持されている。一方、生活規律の指導については、課題があると考える教員の割合が多い。生活指導について、具体的に生徒の意識を高める指導方法の工夫が必要である。	A	B
	健全な社会生活を送るために必要な基本的な生活習慣を身につける。	B	生活規律の指導が不十分であると考えている割合が特に教員で低くなっている。今年度特に服装指導についての指導を強化し成果もあげている。引き続き指導の継続を図っていく。登下校時の安全指導については、全体としての評価は低くはないが、交通事故などの未然防止に向けてさらなる啓発と安全指導の工夫が必要である。	A	B
	家庭との連携をはかり生活指導に臨む。	A	生徒・保護者・教員とも、PTA活動が活発であると評価している。生活指導に関しても、さらに学校と家庭との連携が必要である。学校からの配布物をHPに掲載したり、PTAメールを導入したりしているが、引き続き改善策を工夫していく必要がある。	A	A
	生徒会活動など特別活動への取り組みを支援し、社会性の育成の発揚を促す。	A	部活動や学校行事について生徒の満足度は高く、教員はそれらを社会性の育成の場として熱心に指導している。生徒会の自主的な活動も充実し、地域への働きかけも行われている。	A	A
	<p>学校関係者評価委員からの意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自主自立の育成指導方針は、生徒、保護者に支持されており、指導すべき時に適切に指導を行う、教員の「生活指導力」の更なる向上に期待する。 ・部活動、生徒会活動、ボランティア活動の大切な役割に着目して、学校、地域、保護者でよく協議して、生徒全体をサポートしていただきたい。 ・学校祭をはじめ各種の学校行事、特別活動における生徒の活動について、その活動への積極的な参加を社会参画の動機とし、本校における活動の伝統とその成果を、時宜適切に広報していただきたい。 				
進路指導	総合学習を通して、思考力・判断力を身に付け、進学先やその後の社会で活躍する力を育成する。	A	総合学習のゼミ活動については、課題発見・解決力や発信力を高めるという目的に向かって一層の工夫・改善が求められている。今年度はポスターセッション形式の発表を取り入れるなど、総合学習をさらに充実させるための検討を精力的に行っている。	A	A
	ガイダンス機能を充実させ、的確な進路支援を行う。	A	進路に関するガイダンス機能や相談体制は充実しており、生徒や保護者から高く評価されている。	A	A
	適切な進路情報の提供を通して、進路意識の喚起を目指す。	A	幅広い進路探究学習や学問研究を通じ、生徒は進路に対する興味関心、理解を深め、進路情報も十分提供されていると感じている。保護者への説明会等も充実させている。引き続き提供する進路情報の質を高め、情報提供のしかた等を工夫していく。	A	A
	進路支援プログラムを充実させる。	A	学問研究会、進学講演会、進学講習など進路支援プログラムは充実している。生徒がより主体的な進路選択ができるように内容の充実を図っていく。	A	A

<p>学校関係者評価委員からの意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・進路に関するガイダンス機能や相談体制は充実しており、生徒、保護者の評価は高い。 ・学問研究会や総合的な学習を進め、「多様な学問研究」を具体的に形成している。今後とも生徒自らが、積極的に学ぼうとする意欲・関心を持たれるように継続していただきたい。 ・進路探究学習、学問研究会などから、進路情報への理解を深め、保護者への説明会なども充実している。 					
健康 安全 指導	生徒一人ひとりに対する理解を深め、適切な対応を行う。	A	教員は生徒からの相談事をしっかり聞き、適切な対応をしている。その姿勢は保護者から高く評価されている。	A	A
	心身の健康や安全に配慮した、バランスよい教育活動を行う。	A	心身の健康や安全に配慮しながら、それぞれの生徒に対応した適切な教育活動が行われている。今後とも知・徳・体のバランスのよい教育活動を行う。	A	A
	特別支援の体制を整備し、組織的に生徒の支援を行う。	A	今年度から「サポートカード」も導入し、サポート委員会を中心に、保健相談部、年次、SCが連携をとりながら支援する体制ができています。今後も、生徒や保護者の困りごとに対し適切に対応していく。	A	A
<p>学校関係者評価委員からの意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教員が生徒からうける相談の課題等を、正確に理解して迅速・適切に対応しており、保護者から高く評価されている。 ・心のケアについて、多感な成長期ともなう不安や様々な悩みを抱える生徒のために、サポート委員会、保健相談部など学校全体で対応されているが、更にきめ細かな、早期適切な対応を期待する。 					
広報 ・ 連携等	保護者及び地域社会との連携に努める。	A	PTA 活動は活発に行われ、公開講座の実施など地域に開かれた事業も行われている。行事を地域に公開したり、地域の行事に生徒が参加したりすることもしている。今後も、機会をとらえて学校の様子を情報発信し、保護者や地域と一層の連携を進めていきたい。	A	A
	学校説明会、中学校訪問はじめ広報活動・情報発信の充実を図る。	A	今年度、体験授業を柱とする学校説明会の改善を行った。次年度に向けては学校案内パンフレットの全面改訂を予定しており、引き続き中学校訪問、中学校からの訪問受け入れなども含め、広報活動・情報発信を積極的に行っていく。本校の教育実践について理解を深めていただくように。引き続き、ホームページ、学校説明会、中学校訪問などでの広報について戦略を練って取り組んでいく。	A	A
<p>学校関係者評価委員からの意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校祭はじめ多様な学校行事が充実した活動となり喜ばしい。合わせて PTA 活動が活発になり、成果をあげていることは意義深い。 ・本校の伝統と素晴らしい活動の成果を、地域や中学校などにわかり易く時宜適切に広報していただきたい。 ・地域の運動会や町内会の行事、周辺施設のイベント等に積極的に参加している実績の更なる充実に期待する。 					
<p style="text-align: center;">旭丘高校として評価をうけての今後の課題</p> <p>学校生活全体に対する生徒及び保護者の満足度は高く、「進学重視型単位制高等学校」として、「知・徳・体」のバランスのとれた質の高い教育実践が行われているとの学校関係者評価をいただきました。今後とも、学校関係者評価委員の方々の意見もふまえ、教育活動の一層の充実を図ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒の学習については、学習指導に関する研修の機会を積極的に設けて授業改善を進め、「授業評価」なども活用しながら工夫を重ね、生徒が主体的に学習に取り組む態度の育成に努めます。 ・生徒の興味関心を広め、進路意識を高めるために、総合的な学習の時間などの更なる工夫改善を図り、系統的かつ効果的な進路探究学習を行います。 ・基本的な生活習慣の維持改善に努め、心身の健全な成長を促すとともに、自主的に判断・行動のできる生徒の育成をめざします。そのために、生徒と教職員の信頼関係をより強固にしていきます。また、保護者や地域との連携をより強固にし、健康やいのちを大切にする意識を高めるとともに、自他の人権を尊重し、望ましい社会の実現に積極的に関わる態度を養います。 					

< 評 価 > A・・・よく達成されている B・・・ほぼ達成されているが改善も必要 C・・・不十分である